

1. 技術体系の特徴

品目	家族 労働力	品目・栽培型及び規模			経営・技術の特徴	
えんどう(スナップ:露地)	人  2	えんどう(スナップ:露地)			a	1. 露地栽培 2. 連作障害回避のため 土壌消毒を実施 3. 適期播種を行い生産 安定に努める
		経営耕地面積	水田	190	10	
経営目標	1 農業総収入	1,070	千円	4 1日当たり農業所得	12,618	円
	2 農業経営費	533	千円	5 1人当たり年間労働時間	170	時間
	3 農業所得	536	千円			

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割 有 合	取得価格	耐用 年数	年間 償却額
					千円	年	千円
建 物 ・ 施 設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79
	計				7,561		315
農 機 具	トラクター	1	20PS	1	1,560	7	111
	動力噴霧機	1	可搬式	1	184	7	13
	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	計				3,345		310

3. 技術体系（えんどう:スナップ露地）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ぼ) 耕うん整地	耕起整地	8月上	トラクタ	1	4	4	堆肥 2,000kg 石灰質資材 100kg	深耕及び有機質の施用 pH6.5~7.0程度に矯正する
	うね立て	8月中	管理機	2	2	4		
	マルチ	8月中		2	4	8		
施肥	基肥施用	8月中	トラック	2	2	4	N 25kg P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 25kg K <sub>2</sub> O 24kg	基肥は全層施肥 追肥は収穫開始からN成分1~2kg/10a施用する
	追肥施用	10月上 ~12月上	トラクタ 管理機	1	2	2		
播種		9月上 ~9月中	トラック	2	3	6	種子5リットル/10a	栽植密度(1条) うね幅1.35m×株間10cm (1穴1~2粒) 10a当たり 7,400株
支柱立て誘引		9月中 ~11月下	トラック	2	21	42	支柱 400本 誘引ネット 740m	支柱間隔 1.5~2m
管理	整枝 摘花	10月上 ~11月下		2	24	48		下から10節までのわき芽及び花は除去する
病虫害防除	薬剤散布	9月中 ~11月下	動力噴霧機 トラック	2	7	14		県病虫害防除基準による
収穫出荷		10月上 ~12月下	トラック	2	94	188		莢の厚みが1.0~1.2cmの頃に収穫を行う。
後かたづけ		1月上	トラック トラクター	2	10	20		
計						340		

4. 品目の作付体系 (○:は種、□:収穫)

品目(作型)	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
えんどう (スナップ:露地)																		○						

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
圃場準備																									16		
播種																		3	3							6	
支柱立て・誘引																		42								42	
肥培管理																4				8	8	7	7	6		54	
病害虫防除																				2	2	2	2			14	
収穫出荷																					20	32	32	24	24	188	
後かたづけ			20																							20	
計			20													8	12			10	10	29	41	41	30	24	24
月計			20													20				49			123		78	340	

6. 総労働時間

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
総労働時間			20																							340
うち家族労働			20																							340
うち雇用労働																										